

# みんなで楽しくかかわり、地域をもっと明るくしよう

6年 竹内 一樹

## 1 単元について

### 活動に向かう子どもの思いや願い

今年の総合でどんな活動にしたいかについて話し合うと、「地域と関わった活動がしたい」「地域を明るくしたい」という思いをもっていることが分かった。そこでなぜ、地域と関わりたいのか、自分たちは地域に対してどんなイメージをもっているのかふり返ってみると、人数が減り元気がなくなってきていること、イベントを企画して盛り上げようとしている人たちがいることが確認できた。また、国語の学習で地域のガイドブックづくりをして、改めて地域を見直すことで、もっと盛り上げていきたいという思いを高めることにもつながった。そこで、地域のパン屋さんと協力して自分たちが考えたパンでもっと地域を明るくしていきたいという思いをもつことにつながった。

### 身に付けさせたい力と材について

日本ではパンは主食としてだけでなく、総菜や菓子として発展をしてきた。地域の特産となる商品を企画する際には、パン屋と共に商品デザインや効率、コストパフォーマンスがよいことなどの内容を吟味する活動に取り組むことで、商品化までのプロセスや職人の思いや願いについて実体験を通して学ぶことができると考えている。

また、パンは決まった形はなく、作り手の思いや願いを直に表現できるものであるため、子どもたちの思いを表現しやすいと考える。子どもたち同士が交流することを通してお互いの考えのよさに気付いたり、認め合ったりすることを大切にしながら活動をさせたい。さらに、地域を盛り上げるために友達と一緒に取り組むことで、地域の一員としての自覚をもってほしい。

### 単元目標

「みんなが楽しくかかわり、地域をもっと明るくしたい」という思いの実現に向けて、パンを考案したりイベントを開催したりすることを通して、商品を作って販売する職人や自分たちの地域を支えてくださっている方々の思いを知るとともに、地域の一員としてまちをより豊かにするための方法を考え、行動しようとする。

### 本単元における探究課題と育てたい資質・能力

資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
探究課題 ○日本の食文化に馴染んだパンのもつ魅力やそれを生業としている人の思いや願い ○地域の特徴や町を大切にしようとしている人の思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>作り手の思いや願いによって異なるパンの多様性や効果、目的に応じた特徴があることを知る。</li> <li>商品化されているパンは、パン屋のSさんのこだわりだけでなく、消費者の思考や食習慣に合わせて作られていることが分かる。</li> <li>地域には、協力して支えてくださっている人がいること、またその考え方について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンを商品化するために地域の特色や自分たちの思いをどう表現するとよいか必要な材料や取り組みについて考え、学習の見通しをもつ。</li> <li>地域にいる方がどんなパンを食べるのかインタビューをして情報を集め、整理する。</li> <li>収集した情報をもとに、情報を取捨選択しながら自分たちのパンのコンセプトを考える。</li> <li>消費者に自分たちの思いが伝わるように考案したパンのPRをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンを作る活動を通して、考えや思いを伝え合ったり認め合ったりするよさに気付き、進んで他者と関わろうとする。</li> <li>パンを考えるために、パン屋のSさんや地域の人達と積極的に関わったり、インタビューしたりする。</li> <li>笑顔が増えるパンを目指して、友達と協力して取材や検討を繰り返していき、より良い商品を作ろうとする。</li> <li>パンを商品化し販売することで、まちの活性化に役立つことができた自分自身に気付き、地域の一員としてまちの活性化のために継続してできることを考え続けようとする。</li> </ul>

学びをつなぐ生活科・総合的な学習の時間  
～「生きて働く知識」を明らかにしながら～

## 2 授業づくり

### (1) 子どもの見取りに基づく期待する姿の設定

本学級の子ども達は、みんなで大事にしていこうという目標があると、それを意識して取り組んでいける児童が多いが、話し合いの場面になると自分からアイデアを出したり、友達の意見と関連付けて話し合ったりすることが苦手である。また、自分の思いが第一となり、譲れない児童もいる。

「みんなが楽しく関わり、もっと明るくしていきたい」という目標に向けて、まずは自分たちが楽しめる活動にしようと考えたり、「集会所の活用」や「商品を考えて広める」ことに関心をもったりしていた。地域にあるパン屋と協力して商品を考えて、販売をしたらより多くの人と関わりをもてるのではないかと、自分たちが考えたものが商品として販売されたら楽しそうと、取り組みに対して前のめりになる姿が見られた。

まちに出での活動を通して、地域の方の思いを大切に商品を考えていこうとする気持ちを高めたい。本時では、アンケート活動の振り返りを通して、地域のパンに対しての意識やその傾向から、自分たちがどんなパンにしていこうかを話し合い、まちの人の声で商品を考えていこうとする姿を期待する。

### (2) 期待する姿に向けた教師の手立ての明確化

期待する姿に迫るために、考えられる手立てとして、①職人へのインタビュー②まちの人の声を聞くためのアンケート活動を考えた。

職人へのインタビューをすることで、商品を生み出す行程を知ったり、職人のこだわりや思いに触れたりすることで、商品を作る事に対する理解を深めることにもつながるのではないかと思う。

また、まちの人の声を聞くことで、子どもの目標でもある「みんなが楽しく関わる」という所や期待する姿に近づくことができると考える。

## 2 単元展開

# みんなで楽しくかかわり、地域をもっと明るくしよう

(全68時間 総合60 国語8)

### 1 私たちが左近山の地域でできることは？ (総合10時間 国語8時間)

- 6年生の総合を通して、どんな自分たちになりたいか、地域に対してどんなイメージをもっているか話し合う。
- 左近山の地域を明るく元気にするためにできることについて考え、それぞれの方法の可能性を話し合う。

イベントや自然が多くて楽しく遊べるまちだね。それと人口が減ってきていることや高齢化してきていることが分かった。でも、大学生やUR、IKEAなど左近山の町に注目している人たちもいることが分かった。だからこそ、自分達も地域の人たちも楽しみながらかかわりを増やして、今よりもにぎやかなまちにしていきたい。美味しいと思うものを一緒に食べたり、楽しい活動を一緒にしていけたら、地域をもっと明るくなるんじゃないかな。

### 2 自分達が考えるパンを商品にしよう (総合24時間)

- 商品づくりに必要なこと・もの等を調べて、活動の見通しを立てる。
- パン屋のSさんにインタビューをして、商品づくりで大切にしていることを学ぶ。
- まちの方々や家族にインタビューをしてどんなパンが好まれているのか情報収集する。
- 取材で集めた情報を整理し、商品のイメージを考える。
- 試作してもらったパンを見たり食べたりしながら、改善点について考える。

パンにも様々なものがあるけど、団地の中にあるパン屋のSさんとの関わりから、パンは目的に応じて形を変えたり、食材を選んだりすることが分かった。他にも、商品を考える時は、自分たちの思いを押し付けるのではなく、相手のニーズに応えることも大切だと分かった。パン屋さんには、何度も試作をしてもらって自分たちの思いとまちの人の声、地域の特色、これらを取り入れて考えたパンを作ることができた。このパンを通してたくさんの人がかかわって、地域が明るくなってほしい。そのためにもパンをただ販売するのではなく、広める方法についても考えていかないといけないね。

### 3 自分達が考えたパンを広める方法を考えよう (総合16時間)

- 集会場の情報収集を行い、そこでできそうなことを考える。
- 実際にイベントを企画・運営しているNさんに話を聞き、アドバイスをもらう。

改修工事の終わった集会場では、様々なことが出来そうだった。また、おやじの会の方は小学生と大人のかかわりを増やしたい、多くの人が地域に愛着がわくようにしたいという思いで活動してくれていたことが分かった。パンをただ広めるために集会所を借りるのではなく、そこでさらにたくさんの人ともかかわりをもてるような事をしていきたい。商品になったパンの広め方を考えるとともに、Nさんの力も借りて集会所を使ったイベントを考えようよ。

### 5 パンを広めるイベントを開き、たくさんのまちの人と関わろう (総合10時間)

- 集会場でイベントを開き、地域の方と関わりを楽しみながら、パンを販売・説明する。

自分達が考えたパンを笑顔で買ったり食べたりしている様子や、後で頂いた感想から、自分たちの目的が達成できたと思った。また、左近山のまちを盛り上げていこうという姿に共感してもらうことができた。でも、活動を通して自分たちの活動は常にまちの方々の温かい支えで成り立っていたことに気付くことができた。感謝の心を忘れずに、今後もまちの一員として、自分にできることを続けて行きたいと思った。

### 3 小単元の構想

#### (1) 本小単元で育てたい資質能力

知識・技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
・パンを考える活動を通して、パンのもつ特徴や魅力を知るとともに、専門的な知識をもった方によって活動が支えられていることに気付く。	・どんなパンがよいか考える活動を通して得た情報や、今後どのようにして商品を考えていくかについて話し合い、自分たちの活動の意味やパンがもつ価値を分析する。	・どんなパンにしていくかイメージを固めるために、友達と積極的に関わったり、パン職人や地域の方にインタビューを行ったりする。

#### (2) 小単元目標

「みんなで楽しくかかわり、地域をもっと明るくしたい」という思いの実現に向けて、自分達で考えたパンを商品化する活動を通して、パン屋のSさんから商品を作るまでの工程を学び、パンのもつ特徴や魅力を知るとともに、左近山のまちをもっと明るくするためのパンを自分達で考えていこうとする。

#### (3) 小単元展開

**学習課題**・**学習活動**・**期待する変容**

#### Ⅱ 自分達が考えるパンを商品にしよう ④

##### 商品化するまでにどんな活動が必要だろう ②

必要な活動を考え見直しをもつ。

- ・パンの作り方を知る必要もあるんじゃない。
- ・値段設定の仕方はどのようにしているのかな。
- ・パン作りはそう簡単にできるものではないと思う。
- ・自分たちは商品を考えるところに専念しようよ。
- ・職人のこだわりや思いを聞く必要もあると思う。

##### パン屋にインタビューをしてみよう ②

職人の思いやこだわりについて学ぶ。

- ・自分だったらどんなパンを食べたいかというお客さんの視点で商品を考えるのもいいと分かった。
- ・季節や土地に合わせて商品を考えているみたいだから、地域の何かとコラボレーションできないか、自分達も地域のことをもっと調べてみよう。
- ・お客さんのニーズも意識して、商品を考えていることが分かった。だから、まずは自分達もまちの人の声を聞いてからどんなパンを作るとよいか考えようよ。

##### まちの人たちにインタビューをしてみよう ④

パンに対するイメージや思いを調べる。

- ・主食として食べる場合にはやっぱり調理しやすい食パンが多いことが分かった。
- ・甘いパンはちょっと食べたいときによく食べられているみたいだ。ただ、甘いといっても様々な種類のパンがあった。
- ・お年寄りの方はバターロールのような小さめで手に取りやすい大きさの物が好んで食べられているみたい。

##### 自分達のパンを考えよう ⑩

インタビュー結果をもとにテーマを決め、商品を考える。

- ・多くの人に手に取ってもらえるパンがいいから、あまり大きすぎない方がいいね。
- ・中身にこだわりを入れすぎると好みが分かれてしまうことも分かったからなるべくシンプルなものの方がいいのかもしれない。
- ・まちの人は好きなパンと聞かれるとメロンパンなど甘いパンを答える人が多かった。だから甘いパンをいくつか考えて職人に相談してみようよ。
- ・まちの特徴は緑が多いことだから、緑色を生かせないかな。
- ・まちには豆腐屋さんもあるし、豆乳を使ってできないかな。

##### アドバイスをもとに、商品を完成させよう ⑥

職人のアドバイスをもとに、アイデアを見直し、完成させる。

- ・見た目にこだわると、量産が難しく、シンプルにすると自分たちが表現したい思いがうまく伝わらない気がする。どうするとよいのだろう。
- ・より多くの人に手に取ってもらいたいという思いが自分たちの中で大事だから、見て伝わらない部分は別の方法を考えて伝えていけばいいんじゃないかな。

### 3 本時の学習 (9/24 時)

#### (1) 本時目標

まちの人たちにパンに対してのイメージや好みをインタビュー結果から話し合うことを通して、買い手のニーズを見つけたり取り入れられそうな地域の特徴を考え、自分たちが作りたい商品について考えることができる。

#### (2) 本時の展開

予想される子どもの活動と反応	★手立て ★評価規準					
<p style="text-align: center;">アンケートや情報収集したことから、地域の特長やニーズを分析し、新しい商品を考えるために大事にすることを考えよう</p>						
<p>①インタビュー結果と分かったことについて出し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="164 539 363 719"> <p>●人気のパン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロンパン</li> <li>・あんパン</li> <li>・カレーパン</li> <li>・食パン</li> </ul> </td> <td data-bbox="363 539 699 719"> <p>●好みの食感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふんわり</li> <li>・もちもち</li> <li>・柔らかめ</li> <li>・固め</li> <li>・カリカリ</li> <li>・サクサク</li> </ul> </td> <td data-bbox="699 539 1023 719"> <p>●具材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・あんこ</li> <li>・果物</li> <li>・クリーム</li> <li>・ジャム</li> <li>・肉やチーズなど</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 719 496 898"> <p>●習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食後で少し足りないとき</li> <li>・食事として</li> <li>・おやつとして</li> </ul> </td> <td data-bbox="496 719 1023 898"> <p>●その他(希望や要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽に口に入れられるもの</li> <li>・おいしい</li> <li>・ヘルシー</li> <li>・見て楽しめるもの</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>●人気のパン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロンパン</li> <li>・あんパン</li> <li>・カレーパン</li> <li>・食パン</li> </ul>	<p>●好みの食感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふんわり</li> <li>・もちもち</li> <li>・柔らかめ</li> <li>・固め</li> <li>・カリカリ</li> <li>・サクサク</li> </ul>	<p>●具材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・あんこ</li> <li>・果物</li> <li>・クリーム</li> <li>・ジャム</li> <li>・肉やチーズなど</li> </ul>	<p>●習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食後で少し足りないとき</li> <li>・食事として</li> <li>・おやつとして</li> </ul>	<p>●その他(希望や要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽に口に入れられるもの</li> <li>・おいしい</li> <li>・ヘルシー</li> <li>・見て楽しめるもの</li> </ul>	<p>☆ 子供のアンケート項目に合わせて板書をする。分かったことや考えたことを板書していくときには、事実を可視化するために、発言が多い事実はアンダーライン等で強調して表すようにする。</p> <p>☆ アンケート内容や量が不十分のため、分析ができない場合には、再アンケートの必要性に気付くように助言する。</p> <p>☆ テーマを考える時には、自分たちの目標を意識しながら大事にしたいことを考えていけるように目標を掲示しておく。</p>
<p>●人気のパン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロンパン</li> <li>・あんパン</li> <li>・カレーパン</li> <li>・食パン</li> </ul>	<p>●好みの食感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふんわり</li> <li>・もちもち</li> <li>・柔らかめ</li> <li>・固め</li> <li>・カリカリ</li> <li>・サクサク</li> </ul>	<p>●具材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・あんこ</li> <li>・果物</li> <li>・クリーム</li> <li>・ジャム</li> <li>・肉やチーズなど</li> </ul>				
<p>●習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食後で少し足りないとき</li> <li>・食事として</li> <li>・おやつとして</li> </ul>	<p>●その他(希望や要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽に口に入れられるもの</li> <li>・おいしい</li> <li>・ヘルシー</li> <li>・見て楽しめるもの</li> </ul>					
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>・地域のおじいちゃんやおばあちゃんたちは食事としてよりも、おやつやちょっとした時に食べる人が多いみたいだから、甘いものが好きな傾向があるんだね。</p> <p>・お母さんたちに聞くと、調理のしやすい食パンは食事の時に使われていることが多かった。</p> <p>・メロンパンのあのカリッとサクサクした食感は人気があるみたい</p> <p>・果物やあんこを使ったパンは好みが変わりそう</p> <p>・一口二口で食べられる大きさのものの方が好まれるのかな</p>						
<p>②大事にしていききたいテーマを一人一人考える。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="164 1279 587 1435"> <p>自分達の目標は「みんなが楽しくかわられる」だから、『見て楽しい』ものだったら、誰かとの話題にできるんじゃないかな</p> </td> <td data-bbox="587 1279 1023 1435"> <p>食事の時に食べられるものより、ちょっとした時に『気軽に手に取れる』ものの方が、より多くの人に食べてもらえそう</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 1435 587 1592"> <p>中身よりも見た目や大きさを大事にした方がいいと思う。</p> </td> <td data-bbox="587 1435 1023 1592"> <p>職人は、地域の特徴を取り入れたいと言っていたけど、折角地域と関わってパンを作るのだから、地域の特徴を取り入れたいな</p> </td> </tr> </table>	<p>自分達の目標は「みんなが楽しくかわられる」だから、『見て楽しい』ものだったら、誰かとの話題にできるんじゃないかな</p>	<p>食事の時に食べられるものより、ちょっとした時に『気軽に手に取れる』ものの方が、より多くの人に食べてもらえそう</p>	<p>中身よりも見た目や大きさを大事にした方がいいと思う。</p>	<p>職人は、地域の特徴を取り入れたいと言っていたけど、折角地域と関わってパンを作るのだから、地域の特徴を取り入れたいな</p>	<p>★ 地域のパンに対しての好みや考え方の傾向をもとにしながら自分が商品を考える時に大事にしたいことを考えることができる。</p>	
<p>自分達の目標は「みんなが楽しくかわられる」だから、『見て楽しい』ものだったら、誰かとの話題にできるんじゃないかな</p>	<p>食事の時に食べられるものより、ちょっとした時に『気軽に手に取れる』ものの方が、より多くの人に食べてもらえそう</p>					
<p>中身よりも見た目や大きさを大事にした方がいいと思う。</p>	<p>職人は、地域の特徴を取り入れたいと言っていたけど、折角地域と関わってパンを作るのだから、地域の特徴を取り入れたいな</p>					
<p>③話し合っ考えたことをもとに、次の時間からの取組について考え、振り返りをまとめる。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="164 1704 587 1883"> <p>以前パンを考えた時には自分が「こんな商品があったらいいな」ということを中心に考えていたけど、商品として考えていくと周りの声を取り入れることは大事だと思いました。</p> </td> <td data-bbox="587 1704 1023 1883"> <p>今日は一人で大事にすることを考えた。一つに絞ることは難しいのかもしれないけれど、次回はクラスで大事にしていくことをじっくり話し合っ決めていきたい。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 1883 587 2018"> <p>商品を作るためには考えないといけないことが多く、難しく大変だなと感じた。</p> </td> <td data-bbox="587 1883 1023 2018"> <p>まちの人の声を聞いてみると好みは様々だから、もしかすると商品も一つではなく、いくつか考えたほうがよいと思いました。</p> </td> </tr> </table>	<p>以前パンを考えた時には自分が「こんな商品があったらいいな」ということを中心に考えていたけど、商品として考えていくと周りの声を取り入れることは大事だと思いました。</p>	<p>今日は一人で大事にすることを考えた。一つに絞ることは難しいのかもしれないけれど、次回はクラスで大事にしていくことをじっくり話し合っ決めていきたい。</p>	<p>商品を作るためには考えないといけないことが多く、難しく大変だなと感じた。</p>	<p>まちの人の声を聞いてみると好みは様々だから、もしかすると商品も一つではなく、いくつか考えたほうがよいと思いました。</p>	<p>☆ 自分が始めに考えていたことと比較しながら振り返るように問いかける。</p>	
<p>以前パンを考えた時には自分が「こんな商品があったらいいな」ということを中心に考えていたけど、商品として考えていくと周りの声を取り入れることは大事だと思いました。</p>	<p>今日は一人で大事にすることを考えた。一つに絞ることは難しいのかもしれないけれど、次回はクラスで大事にしていくことをじっくり話し合っ決めていきたい。</p>					
<p>商品を作るためには考えないといけないことが多く、難しく大変だなと感じた。</p>	<p>まちの人の声を聞いてみると好みは様々だから、もしかすると商品も一つではなく、いくつか考えたほうがよいと思いました。</p>					

## 7 考察

### (1) 前時までの子どもの見取りに基づく期待する姿の設定

#### 期待する姿に迫っていたか

期待する姿として、職人やまちの人へのインタビューを通して、買い手のニーズを意識することが大切だとまちの声で商品を考えていこうとする姿を設定した。

#### 「買い手のニーズを意識することが大切だとまちの声で商品を考えていこうとする」について

職人にインタビューを終え、「職人もまちの人の声を大切にしていたよ」「地域の特長を取り入れたい」という思いに触れて、自分たちも大切にしていきたいと発言する児童が多かった。アンケート項目を作成するときには、両方が聞けるように項目を考えていた。

しかし、子どもが考えたアンケートでは、「どんなパンが好きか」という事しか聞けず、その他の事についてはほぼ聞けなかった。そのために、本時でも「メロンパンが好きな人が多い」「食パンが人気」という結果しか出ず、まちの人の思いまで考えることはできなかった。今回の活動の目的を確認したり、聞き返したりしたら自分たちが知りたいことを明確にしてアンケートを作成することができたかもしれない。

### 期待する姿に向けた教師の手立ての明確化

#### 教師の手立てに対する成果と課題

#### 成果

##### ・アンケートの本質に気付く

集計結果から考えたことをグループごとに出してもらった。しかし、その考えは少数のアンケートからの考えであることに気付くよう、左近山地域の住民の数を示した。そのことで、「アンケートの数が少なすぎる」「全体では200を超えているけど、項目がばらばらだから意味がないのではないかと悩んでいた。また、「メロンパンが好きな人が多い」という結果に対して、「今ある商品のことを教えてもらってもなあ」とアンケート項目についても見直すことで、アンケートは数を必要とすること、自分たちの知りたいことに合わせて項目を作る必要があることに気付くことができた。

##### ・次への活動の意欲の高まり

アンケートが不十分だったことにより、落ち込んだり、意欲が下がる様子を見せたりする児童もいたが、中には自分たちのアンケートから「まちの人の声が聞けて良かった」「もっと聞いて自分たちが考えるときに大事にしていきたい」と意欲を高めている児童もいた。アンケートの本質に気付いたからこそ、もう一度と考えることができたのではないかと思う。

#### 課題

##### <環境設定>

パン屋のSさんの言葉から考えたことを可視化しておいたり、アンケート作成の際に確認したりして常に意識したり活用したりできるようにしておくことが必要だったと考える。「商品を考えるために知りたいこと」が明確になり、意識できていたらアンケート項目も自分たちで見直したり考えたりすることができたのではないかと思う。

##### <アンケートに対する教材分析>

教員がアンケートを作成させる際に安易に子ども達に任せすぎていた部分がある。子ども達がアンケートの本質を大事にできるよう、作成の段階から目的に返れるような声掛けが必要だった。

##### <本時の課題設定>

期待する学びとふり返りに対して課題設定にずれがあった。大事にすること＝地域の特長を知ることやまちの人のニーズに応えることであるのに、課題の中にこれらの2つが盛り込まれていて、子ども達も何をどう考えたらいいのか、分からなかったのではないかと思う。「アンケート結果からどんなパンにしていきたいか」という事について話し合う時間にしていたら子どもも考えやすかったのではないかと感じた。